



2021年8月2日

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120-598-106
アウディコミュニケーションセンター

アウディ、上半期に好調な業績を記録：販売記録を達成し力強い利益を計上

- 記録的な販売台数：上半期としては過去最高となる 98 万 1,681 台の車両を販売
- 売上高 292 億ユーロ、営業利益 31 億ユーロ、営業利益率 10.7%、税引前利益 39 億ユーロ
- 高水準のネットキャッシュフロー：55 億ユーロ
- CFO リッテルスベルガー：「上半期を成功裏に締めくることができたが、容易ならぬ状況が続いている」

(ドイツ本国発表資料) 2021年7月30日、インゴルシュタット：アウディグループは、半導体供給が困難な状況に陥っているにもかかわらず、上半期に好調な業績を記録しました。2021年1月～6月に、アウディは世界中で 98 万 1,681 台の車両を販売し、上半期としてはアウディ史上最高の販売台数を記録しました。好調な販売台数は財務実績にも反映され、売上高は 292 億ユーロに達しました。営業利益は、お客様の高い需要、力強い販売実績、継続的なコスト管理を反映して、31 億ユーロとなりました。さらに、上半期においては、原材料確保のプラスの評価効果の恩恵を受けています。その結果、営業利益率は 10.7%となり、戦略的目標である 9～11%の範囲に達しています。ネットキャッシュフローは、アウディグループの力強い財務基盤を反映し、55 億ユーロとなっています。

AUDI AG 財務および法務担当取締役のユルゲン リッテルスベルガーは、次のように述べています。「2021年は、年初からの好調な傾向が6月まで続き、上半期を成功裏に締めくることができました。当社の財務実績は、包括的な対策により、世界的な半導体不足の課題にうまく対処し、順調な市場の需要にうまく乗れたことを示しています。販売台数は好調に推移し、コロナ以前の水準を超えています。また、高い収益性は、当社の能力と製品ポートフォリオの魅力を明確に裏付けています。」

全世界における記録的な販売台数

アウディ製品に対するお客様の継続的な高い関心により、上半期の新記録となる 98 万 1,681 台のアウディ車を販売しました。これは、前年比 38.8%の増加となります (2020年：70 万 7,225 台)。4月～6月の販売台数は 51 万 8,853 台で (2020年：35 万 4,232 台)、第2四半期としては、これも過去最高の販売台数となりました。中国市場では、アウディは上半期に過去最高となる 41 万 8,749 台の車両を販売しました (38.4%増)。米国でも 12 万 1,835 台の車両を販売し (59.9%増)、上半期の販売記録を更新しました。ヨーロッパにおけるセールスも好調で、販売台数は前年同期比 32.7%増の 35 万 1,588 台となりました。なかでも、電気自動車とプラグインハイブリッド車の販売が大幅に増加し、前年同期の2倍以上となる約 8 万台の車両を販売しました (2020年：約 3 万 6,000 台)。さらに、SUV モデルとトップレンジモデルが高い成長率を示しました。

AUDI AG 販売・マーケティング担当取締役のヒルデガルト ヴォートマンは、次のように述べています。「お客様からの需要の増加と世界的に好調な販売が、上半期における力強い成長の原動力となりました。このようにして、私たちは持続可能なプレミアムモビリティのリーダーになるための改革を続けます」

アウディは、電動化をさらに推進しています。2033年まで内燃エンジン搭載車の生産を段階的に終了し、遅くとも 2050 年までにカーボンニュートラルを達成する予定です。それと同時に、広範囲な電動化攻勢を継続的に前進させます。この上半期にアウディは、新型 e-tron GT quattro および RSe-tron GT

に加え、コンパクトセグメント初の電気自動車である Q4 e-tron および Q4 Sportback e-tron を発売し、電動化ポートフォリオに 4 つのモデルを追加しました。これは、アウディが今年、内燃エンジン搭載車よりも多くの電気自動車を市場に投入していることを意味しています。2025 年までには、製品ラインナップに 20 を超える電気自動車を導入する予定です。

コロナ以前のレベルよりも高い売上高

アウディグループの上半期の売上高は前年同期比 42.7%増の 292 億 1,200 万ユーロ（2020 年：204 億 7,600 万ユーロ）でした。世界各地でロックダウンが行われた昨年と比較して、上半期の売上高はすべての車両セグメントで増加しました。それに伴い、製品および地域ミックス、価格目標も改善されました。SUV に対する高い需要は、売上高にプラスの影響を及ぼしました。アウディの Q モデルの販売は、多くの市場、特に米国および中国で好調でした。ランボルギーニブランドの売上高は 9 億 6,100 万ユーロで、前年を上回りました（2020 年：7 億 6,600 万ユーロ）。

戦略的目標範囲内の営業利益率

アウディグループは、上半期に 31 億 1,300 万ユーロの営業利益を計上しました（2020 年：-7 億 5,000 万ユーロ）。上半期の営業利益率は 10.7%へと増加し（2020 年：-3.7%）、戦略的目標である 9~11% の範囲に到達しています。高水準な利益および売上利益率は、主力事業における好調な業績と継続的なコスト管理によって達成され、原材料を確保したことによる前年比 9 億ユーロのプラスの評価効果によって、さらに強化されました。

アウディグループは、2021 年上半期に 38 億 7,500 万ユーロの税引前利益を計上しました（2020 年：8,600 万ユーロ）。これには、上半期における中国の好調な業績を反映した 7 億 6,200 万ユーロの高水準な営業外収益が含まれます（2020 年：8 億 3,600 万ユーロ）。

ネットキャッシュフローは 55 億 1,200 万ユーロとなりました（2020 年：19 億 5,300 万ユーロ）。これは、アウディグループが強固な財務基盤を備えており、将来に向けて良好なポジションを確保していることを示しています。高い利益と継続的な投資規律に加えて、アウディは、2020 年の第 4 四半期の好調な受注によって発生したプラスの影響を受けました。

2021 年全体の見通し：これまで同様、慎重かつ楽観的

2021 年全体で見ると、アウディは、世界全体の自動車市場の需要は増加すると見込んでいます。同時に、今後数ヶ月間は、ひっ迫した半導体の供給状況によって影響を受ける可能性があります。アウディは引き続き対策に力を入れていますが、半導体不足が続いていることから、年間を通じて生産量の減少を完全に回避することはできないと予想しています。さらに、アウディグループは、下半期には原材料確保による大きなプラスの評価効果は出ないと予想しています。

それでもアウディは、今年の下半期について慎重でありながらも楽観的な見通しを示しています。アウディグループは、アウディブランドの販売台数と売上高が、前年よりも大幅に増加すると見込んでいます。営業利益率に関しては、計画通り 7~9%の範囲になると予測しています。ネットキャッシュフローに関しては、上半期のポジティブな傾向に基づきながら、下半期における支出の増加を考慮して、45 億~55 億ユーロの間になると予想しています。

詳細につきましては、以下（ドイツ本社サイト）を参照してください。

[2021 年上半期における各四半期の業績](#)

[2021 年上半期の業績に関する、AUDI AG 財務および法務担当取締役ユルゲン リッテルスベルガーへのレビュー](#)

アウディ グループの業績 (抜粋)

	2021 年上半期	2020 年上半期
アウディブランド 販売台数	981,681	707,225
アウディグループ 売上高 (百万ユーロ)	29,212	20,476
アウディグループ 営業利益 (百万ユーロ)	3,113	-750
アウディグループ 営業利益率 (%)	10.7	-3.7
アウディグループ ネットキャッシュフロー (百万ユーロ)	5,512	1,953

アウディブランド販売台数

	2021 年上半期	2020 年上半期	2020 年比増減
全世界	981,681	707,225	+38.8%
ヨーロッパ	351,588	265,020	+32.7%
- ドイツ	104,031	98,381	+5.7%
- 英国	67,866	40,399	+68.0%
- フランス	27,961	18,539	+50.8%
- イタリア	35,279	21,541	+63.8%
- スペイン	20,285	16,726	+21.3%
米国	121,835	76,210	+59.9%
メキシコ	5,699	3,703	+53.9%
ブラジル	2,961	2,585	+14.5%
中国 (香港を含む)	418,749	302,512	+38.4%

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。